



2年学年だより

発行日:令和5年10月2日(月)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:遠藤 広樹 NO. 5

「祭高傑作」 南高祭を終えて

校長代理 中澤 務

南高祭「舞台の部・展示の部」が、9月8日(金)から9月10日(日)に行われました。今年のテーマは「祭高傑作～70色の虹～」。9日(土)、10日(日)は4年ぶりの一般公開でした。南高祭実行委員の皆さん、生徒会本部の皆さん、生徒の皆さん、6月の「体育祭の部」から南高祭のために力を尽くしてくれたこと、本当にありがとうございました。また、保護者の皆様には本校の教育活動にご理解をいただき、お子様が行事の準備活動に取り組む姿勢を支えてくださいましたこと、感謝申し上げます。会場にいらした皆様、暑い中、またお忙しいところありがとうございました。

閉祭式でも全校の皆さんにお話ししましたが、感じたことを改めてお伝えします。

「舞台の部」…私は度肝を抜かれました。「なんてパワーだ！」迫力いっぱいのサウンド、きれ
スパフォーマンスの数々、クイズやゲーム、工夫あるクラス CM、それを時間で容赦なく切る進
パフォーマンス、風の章の演劇…。楽しくて、迫力いっぱい、青春いっぱいでした。中高の生徒が協力するところもよ
った。憧憬の章での、「九州男児新鮮組」のダンスすごかったですね。でも、プロのパフォーマーと一緒に生徒がステ
ージに立つ勇気も素晴らしいと思いました。MCの掛け合いも軽快で、時間を忘れるほどでした。そして何より、会
場の生徒の皆さんがそれぞれのパフォーマンスを心から楽しみ、精一杯盛り上げていたのが印象的でした。

「展示の部」…連日3000人を超えるお客様を迎え、生徒の皆さんがおもてなしをしてくれました。クラスや部活
動、有志団体による、展示、アトラクションやパフォーマンス、フードメニューの数々…。中高が一体となった空間は1
日では回り切れないほど盛りだくさんでした。(生徒の皆さんも、会場すべてを回って楽しみ尽くした！と言える人
は実際あんまりいないんじゃないでしょうか…。)また、学校説明ブースにもたくさんの方が来てくれました。改めて
南高・南高附属中学校に対する関心の高さを実感しました。

大勢のお客さんを相手するのは大変なことだったと思いますが、入場を待つ長い行列ができるのを見たとき、こ
れまで時間をかけて工夫して、うまくいかないことも乗り越えながら、精いっぱい準備した生徒の皆さんの喜びもひ
としおだったのではないかと思います。お一人おひとりに、ていねいに接してくれたこと、きっと来場した皆さん
の心に残る素敵な思い出になったと思います。私自身もそれぞれの会場・教室でていねいに接してもらったひとり
です。とても嬉しかったです。そして、撒収・片付けも含め、南高祭を通して生徒の皆さんが友情と協力によって生み出
したエネルギーは、私たち教職員にとっても誇りです。

2年生はイングリッシュキャンプ、3年生は関西研修旅行に出かけます。行事を通して強くなった友情や、協力の姿
勢を一層生かして、学年の行事や授業、普段の学校生活にも臨んでください。



多くの人で盛り上がった南高祭

9月8日（金）～10日（日）の3日間にわたり、南高祭舞台の部・展示の部が行われました。

今年の舞台の部は、4年ぶりに全校生徒がアリーナに集まりました。ダンスやバンド演奏などでは、その場で立ち上がって盛り上がり、会場も一体となっていました。展示のCMでは、短い時間の中で、クラスの展示を全力でアピールする姿はとてまかつよかったです。展示の部でも、一般のお客さまをお招きしての開催となりました。昨年とは比べものにならないくらいの方が、校内の展示を見て回っていました。そんな中でも2年生のみなさんは、おもてなしの精神で丁寧に接客する姿が見られました。お客さんだけでなく、自分たちもお互いのクラスを見合っただけ楽しむことができました。これだけ楽しむ展示を作り上げるには、一人の力では達成できないものだったと思います。実行委員の人を中心にクラスで協力して準備してきた成果が、今回の南高祭の大盛況につながったことと思います。

☆各クラス実行委員のコメント☆

1組【AIの迷宮～目指せ共存～】

・私は人の前で発表する際、原稿を作っても話している内に伝えたいことが変わってしまうことがあるので、きっちり作らないことがあります。しかし、南高祭は入念に文字起こして書類を作ってきました。今、私のパソコンには30個程のファイルが「南高祭」というフォルダーに残っています。それを見ると本当に感慨深いです。小6のときの活動みたいでとても充実した3～4ヶ月だったと思います。内心、謎の不安3:不安1でしたが、多くのお客さんを迎えることができよかったです。なんやかんやありましたが、「みんなが仲間に みんなが楽しく みんなで創ろう」が達成できたのではないのでしょうか。

・クラス展示の迷路の準備が進むにつれて問題が生じたが、その際に協力して乗り越えたことが印象に残っています。柱が上手く立たず何度も修正に取りかかった時には、自らのアイデアを出して自分から取り組んでいくクラスメイトの姿があり、自然と声をかけ合っただけ協力できたことは良かったと思います。準備の日は遅くまで残って作業していたのでクラスの展示がすべて完成したときには、一緒に喜びあって達成感を得ることができました。苦勞もたくさんあったけれど、その分楽しめた南高祭でした。



2組【文化の細分化祭】



・昨年につづき、今年も南高祭展示の部委員としてクラスを引っ張り、成功を収めることが出来たと思います。私は色々な屋台の手伝いをしている中で、展示のルールについてクラスメイトに聞かれたときにすぐに答えることができませんでした。もし、今回のように周りを引っ張る立場になったときは、今回の反省を生かして頼れるリーダーになりたいと思いました。

・準備からとにかく大変でした。委員の仕事もつまっているのにさらに部活の練習もあったためです。クラスでは、何をやるかを決めるとき色々な案が出ました。去年も南高祭

をやっていたが、去年はやることは新聞と決まっていたのでこれまでと違う大変さを感じました。出し物が決まった後の展示名決めでは、神馬刺謝肉祭という案が出てきたときに、表向きはうんうんとうなずき平静を保っていましたが、内心どうしよう、これではまとまらないと焦りました。本番当日は延べ1976人もの方に来場していただくことができて、大成功でした。

- ・私は南高祭を通して友達との信頼を改めて理解し、頼って良いことを再度確認できました。私は自分一人でやり切りたいという目標を常に持っていて、頼ることに抵抗を感じていました。しかし、今後は自分の力を使いつつも、無理なことがあったときは友達を頼りたいと思いました。

3組【一攫千金～君は“勝ち組”になれるか!?～】

・展示委員は、初めてのことで、最初はおたついたり、話し合いが上手くいかなかったりいろいろ大変だったけど、他の展示委員や各装飾系のリーダーが協力してくれて、いい展示ができたと思います。準備では、展示名がダメと言われてたり、シフトが中々決まらなかったり、色々とアクシデントがあったものの前日準備では、計画通り



- スムーズに準備ができました。当日は、1日目の反省を解決するために、リーダーたちが放課後会議をしてくれたおかげで、2日目はさらによい展示ができたと思います。大変なことはあったけど、とても楽しかったです。
- ・南高祭当日、思っていたよりも人がたくさん来て、始めはみんな焦っていた。でも、どうすれば効率よく回せるのか、自分たちで考えてすぐ行動に移すことができた。このことによって、臨機応変に行動する力を培えたと思う。
 - ・「協力する」というのは、何事にも大切だと感じました。自分で決められないことや一人では出来ない作業を友達に頼って一緒にやるというのが、来年の南高祭だけでなく、社会に出てからも必要だと思いました。

4組【多文化・オブ・ジ・アース】



- ・この南高祭の期間、特に展示の部を通じて、互いに協力して助け合うことの大切さを学びました。クラスや学年だけでなく、色々な方に助けられて当日を迎えることができました。また、準備期間の中で、全体を見て何が必要か考えて指示する力やどうしたら話し合いを円滑に進めることができるか考え実践する力を培えたと思います。
- ・私は舞台の部の装飾係として、毎日放課後に残って装飾をしたのが大変でした。でも、その分舞台の部当日はすごく達成感があり、大変なことが多かったけど、やってよかったなと思いました。また、舞台の部には、同じ部活の人がたくさんいたり、新しい友達が出来たり、おもしろい先輩がいたりしてすごく楽しかったです。当日は何事もなく無事終えることができました。

みちをのぼやき 「人生は前のめりで生きると良いのかも」

南高祭からイングリッシュキャンプと、夏休み明けの9月は怒涛のヶ月でしたね。お疲れさまでした。2つの行事を11期生のみなさんと過ごして感じたことは、「楽しい」時間にするために大事なのは「主体的」になることなのだろうなということです。行事の最中や終わった後のみなさんの表情は、充実しているように見え、それはきっとみなさんが準備から当日までの時間を「主体的」に過ごしたからだだと思います。これからの時間も、「主体的な11期生」と言われるような過ごし方をしていけたらと思います。

改めて南高祭実行委員やイングリッシュキャンプ実行委員のみなさん、ありがとうございました。